

日韓文化交流基金広報誌『日韓文化交流基金 NEWS』
(日本語版・韓国語版)
制作業務委託先公募について

2026 年 7 月
公益財団法人日韓文化交流基金

1. 概要

公益財団法人日韓文化交流基金（以下、基金）の広報誌の制作業務を委託する事業者を募集します。
今回の公募は、2026 年度刊行の 1 回分の業務が対象です。

2. 印刷物の仕様

(1) 名称	『日韓文化交流基金 NEWS 103 号』(日本語版及び韓国語版)	
(2) 仕様	日本語版と韓国語版は合冊せず、別々の冊子として作成する *但し、韓国語版は紙媒体では制作せず、PDF 版のみの納品とする。 *原則として入稿する言語は日本語のみ。韓国語版は、入稿言語（日本語で作成）を韓国語に翻訳の上、作成する。	
(3) 規格	①サイズ	A4 タテ 横書き
	②形態	製本 中綴じ
	③ページ数	(日本語版) 12 ページ (韓国語版) 12 ページ
	④色刷り	カラー (4 色)
	⑤紙質	b7 トラネクスト
	⑥部数	(日本語版) 600 部 (韓国語版) PDF 版のみの納品
	⑦ほか条件	a. 写真や図版も含みます (各ページ 2-3 点想定)。 b. 上述の通り日本語版を翻訳した韓国語版作成の際には、事業者は韓国語への翻訳対応 (機械的な翻訳は不可、自然な韓国語とする)、日韓それぞれの言語での編集、校正が可能な環境を確保するものとします。
(3) 納期	令和 9 (2027) 年 2 月中旬 *韓国語版は 3 月末までの PDF 納品を希望 *上記納期に合わせた作業スケジュール案も提出すること	
(4) 納品場所・方法	以下の区別にて納品 (発送) する想定とします。 ①PDF データによる納品 (日/韓) ②日本語版 50 部: 基金事務所 (住所は文末参照)	

	③550 部（550 か所）：事業者から直接発送（日本国内：日本語版） ＊事業者から直接発送するものに関して ・透明もしくは半透明のビニールに、印刷物と送付状を折らずに入れて送付してください（送付状は A4 もしくは B5 サイズ 1 枚想定）。基金事務所納品分は、封入作業は不要です。 ・宛名住所のデータは基金より提供しますが、宛名ラベルの作成や貼付は事業者で行ってください。
（５） 制作方法	①別添の企画書に基づき、事業者は工程表を作成し、スケジュール管理をしてください。 ②入稿用の原稿（日本語）や写真、図版は、事業者に特別に依頼しない限り、すべて基金より提供します。原稿は電子データで提供します。 ③事業者は提供された原稿や写真等を用いてデザインを行ってください。 ④紙面校正は文章校正 3 回、色校正 1 回とします。ただし、場合によっては校正回数が増えることがあります。 ⑤誤字脱字の有無や平仄の確認は、事業者の側でも行ってください。 ⑥校正紙の送受信の方法は、電子メールへの添付、もしくはデータファイル転送サービス利用のいずれかでを行います。 但し、色校は実際の紙に印刷したものを基金事務所へ持参、もしくは送付願います。 ⑦基金側からの初校以降の「戻し」は、校正紙に手書きで修正・加筆したものを PDF データでお送りする予定です。 なお、校正方法についてご提案（特定のアプリを使用する等）がある場合は、見積提出時にご説明をお願いします（提案は必須ではありません）。
（６） その他	①完成品の発送業務を他の業者に再委託することは妨げませんが、再委託先との連絡は事業者側が一括して行うものとします。 ②事業者は業務上取り扱う個人情報漏洩しないよう、管理を徹底してください。上述①の場合においても、再委託先での情報管理が厳格になされるよう、事業者が必要な確認を行う責務を負うものとします。

3. 委託金額

(1) 制作・印刷に関する費用	日本語版及び韓国語版制作費用 (翻訳経費含む)
(2) 印刷物の封入・送付に関する費用 (前出 2. (4) ③および④)	単価×想定数 で算出・計上してください。 (実際の支払いも実数に基づく 実費負担となります)

4. 応募条件と提出期限

(1) 提出期限	後述する提出物を 8 月 31 日 (月) 正午までに、電子メールに添付の上、文末のメールアドレスに送付してください。 データファイル転送サービスのご利用は問題ありませんが、その場合は事前に電子メールでその旨をお知らせください。 当方で受信後 24 時間以内（営業日基準）に、受信した旨のメールをお送りします。 当方からのメールが届かない場合は、恐れ入りますがご連絡をお願いします。
(2) 提出物 (①～⑤)	①デザイン見本 別紙（企画案）を参照の上、1 頁目のデザインを提出ください。 1 頁目には、表題と目次を含みます。別途、表題と目次の文字情報（日本語/韓国語）を提出します。本文はダミーで適宜作成ください。 過去の広報誌は下記の基金ウェブサイトにてご覧いただけます。 https://www.jkcf.or.jp/projects/category/publication/news/ *4 色刷では上述（3. (1)）の委託金額を超過する場合、2 色刷の見本での提出も可能とします。 ②制作スケジュール案（書式自由） ・日本語版は2月中旬納品を前提に制作スケジュール案を作成ください。 ・韓国語版は日本語版の初校完了時点の情報で翻訳を開始し、3 月末までの PDF 納品を前提に制作スケジュール案を作成ください。 ・「入稿」、「初校」、「再校」、「3 校」、「色校正」のほか、韓国語翻訳作業期間等の予定日も明示ください。 ③自社の概要説明資料（会社案内等） 「会社案内」など、既存の印刷物がある場合は、実物を送付願います。 印刷物がなく、ウェブサイトでの閲覧が必要な場合は、指定個所の URL を電子メールにてお知らせください。PDF データでの提出も可とします。 なお、2024 年 4 月以降に、当基金が行った制作業務委託先公募に応募さ

	れ、その際に該当する資料を提出された場合は、今回の提出は不要です (情報が更新されている場合は、恐れ入りますが再度ご提示ください)
	④過去の制作物見本 1～2点 実物を送付願います。
	⑤見積書（指定書式あり） 前出 3.（１）と（２）の合計、ならびにその内訳にあたる情報をご記入 いただきます。 見積書式に記入欄がない費用、またどの欄に当てはまるか判断がで きない費用などは、「その他」の欄に必ず記載してください。

5. 審査方法

提出された見積書の内容、類似業務の実績、見積額の妥当性等を総合的に判断し、決定しま
す。

6. 公募結果通知

2026年9月11日（金）までに、当基金ウェブサイトにて公表します

7. その他

- ・企画書の提出に伴う経費は申請団体の自己負担とします。
- ・提出された書類は本件審査の目的にのみ利用し、採否にかかわらず返却しません。
- ・採否決定の経緯、理由についてはお答えできませんので、予めご了承ください。
- ・事業者決定後に、この見積もり時の計画から変更になることがあります。

問い合わせ先

公益財団法人 日韓文化交流基金（広報誌担当）

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-21-2
プライム水道橋ビル 5F

Mail: kikin-news★jkcf.or.jp

※上記の「★」を「@」に置き換えてご連絡ください

電話：03-6261-6790